

## 【公衆衛生事業部】

研修番号	実務研修－1回	講義時間：90分	取得単位：講義1単位
開催期間	2022年6月15日(水)～6月28日(火)		
演題	小児期の体格評価と小児肥満対策		
講師	日本赤十字北海道看護大学 看護学部 教授 伊藤 善也 氏		
期待できる効果	①小児期の発育・発達における特徴を理解する。 ②肥満とやせの出現の適切な時期に栄養指導を実施することができる。 ③小児期から生活習慣病予防が実施できる。		
お勧めポイント!	<p>講師の伊藤先生は我が国の小児肥満研究の第一人者であり、新潟県栄養士会公衆衛生事業部で実施している新潟県小児肥満等発育調査にも長きにわたりご指導をいただいております。</p> <p>なお、新潟県小児肥満等発育調査は、全国でも先駆的な取組みとして高い評価を受けており、調査結果は県内市町村の保育園・こども園等の現場指導はもちろんのこと、県内市町村食育推進計画や健康づくり対策にも幅広く活用されております。</p> <p>また、伊藤先生は2019年3月に日本小児科学会など4団体が作成された、5歳未満の幼児を対象とした肥満対策をまとめた「幼児肥満ガイド」の幼児肥満の判定法の執筆もされており、小児の発育・発達や肥満とやせの指導に役立つ内容を管理栄養士・栄養士向けにわかりやすくご講義いただきます。</p> <p>この機会に多くの皆様からの受講をお待ちしております。</p>		
研修項目	大項目：食と栄養に関する基礎知識	中項目：根拠に基づいた栄養管理	
	科目：小児の発育・発達	項目番号：23-114	


## 【地域活動事業部】

研修番号	実務研修－2回	講義時間：90分	取得単位：講義1単位
開催期間	2022年7月14日(木)～7月27日(水)		
演題	地域医療と地域包括ケアシステムにおける栄養士の役割：超高齢社会		
講師	新潟大学大学院 医歯学総合研究科 特任助教 白倉 悠企 氏		
期待できる効果	地域医療の現状を把握し、地域包括ケアシステムにおいて多職種連携や、職域を超えて途切れない栄養管理を共有する。また、コロナ禍での課題を知ることにより、在宅医療・介護の現場で活かせる栄養ケア対応力の向上を図る。		
お勧めポイント!	<p>白倉先生はニュージーランドで医学部に進学。帰国後、救急医療やプライマリ・ケアなどに従事し経験豊富です。プライマリ・ケアは栄養ケアにも通ずる所がありますので、お話し頂くことになっております。</p> <p>現在は『十日町いきいきエイジング講座』の十日町オフィスに勤務し、地域医療に携わっています。</p> <p>是非、『十日町いきいきエイジング講座』ホームページもご参照ください。</p> <p>地域包括ケアシステムの構築が急がれる中、医療・介護・在宅などの現場で求められる栄養士の役割やコロナ禍での高齢者ケアの課題についてお聞きし、今後の業務に活かして頂きたいと思っております。</p>		
研修項目	大項目：栄養ケアプロセス	中項目：地域連携	
	科目：地域連携②	項目番号：412-103	


## 【学校健康教育事業部】

研修番号	実務研修－3回	講義時間：90分	取得単位：講義1単位
開催期間	2022年8月18日(木)～8月31日(水)		
演題	食を通して笑顔へ繋ぐ～もしもに備える食～		
講師	一般社団法人 日本食育HEDカレッジ代表理事 日本食育防災士 中村 詩織 氏		
期待できる効果	災害発生時の行動計画及び非常食の備蓄運用について学んだり、誰もが安心して作れる食事等について学んだりすることで、非常時における対応スキルを習得することができる。 また、管理栄養士・栄養士自らが対象者に非常時に備えた対応について指導できるようになることが期待できる。		
お勧めポイント!	<p>災害はいつ起こるか分かりません。そんなもしもに備え、日頃から災害時を想定しておくことはとても大切です。また、災害時では食事の場面におけるストレスの軽減も課題です。</p> <p>中村先生は「日本食育防災士」として、災害時におけるリーダーの育成に取り組んでおられます。</p> <p>また「防災食育レシピ」「災害時でもおいしく食べられる料理教室」などの動画を多数配信されています。</p> <p>防災ワークショップ等の講師としてのご経験も豊富で、学校・家庭生活の中で日頃から子供と一緒にしておくとい体験なども学べます。</p> <p>災害に備えた備蓄・運用方法、災害時でも日常に近付けて生活する方法などその対応スキルについて学びましょう。</p>		
研修項目	大項目：非常時の緊急体制	中項目：非常時の食事提供	
	科目：災害時対応	項目番号：G61-101	


## 【研究教育事業部】

研修番号	実務研修－4回	講義時間：90分	取得単位：講義1単位	
開催期間	2022年9月15日(木)～9月28日(水)			
演題	全世代に役立つ時間栄養学 ～続編～			
講師	国立研究開発法人 農研機構 上級研究員 大池 秀明 氏			
期待できる効果	各職域会員が時間栄養学に関わる基本と応用を学ぶことにより、幅広い世代の栄養管理に応用することが可能となる。また、これまでの栄養管理と異なる視点による考え方を理解でき、管理栄養士・栄養士業務の質的向上が期待できる。			
お勧めポイント! 	時間栄養学は、栄養学を時間生物学の位置から研究する学問ですが、過栄養および低栄養予防など重要課題に対するアプローチとして注目を集めています。本講義では、日頃から感じている疑問の解決が期待できます。2021年度 大池秀明先生の実務研修講義は、興味深い内容が多く好評でした。今回、アップデートされた大池先生のわかりやすい講義を受講してスキルアップを目指しましょう。			
研修項目	大項目:	食と栄養に関する基礎知識	中項目:	根拠に基づいた栄養管理
	科目:	成人期の栄養	項目番号:	23-116

## 【福祉事業部】

研修番号	実務研修－5回	講義時間：90分	取得単位：講義 1単位	
開催期間	2022年10月13日(火)～10月26日(月)			
演題	嚥下障害について			
講師	新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部 言語聴覚学科 田村 俊暁 氏			
期待できる効果	日本摂食嚥下リハビリテーション学会 嚥下調整食分類 2021のコード分類を活用し、対象者の摂食嚥下機能障害レベルに合った食事提供及び口から食べることの大切さを理解し業務に生かしていく。			
お勧めポイント! 	嚥下機能障害は、福祉分野において極めて重要なテーマであり嚥下機能に配慮した食事提供、環境設定は必要不可欠です。「口から食べる」ことは、生きる喜び・幸福感にもつながります。田村先生は、成人領域(特に神経内科、介護領域)を経験され、現在は小児領域(特に小児歯科領域)の臨床をされています。高齢者だけでなく、幅広い対象者の摂食嚥下障害を学べる機会となります。是非この機会にじっくり学び、多職種での食支援・他施設との連携においても活かしましょう。			
研修項目	大項目:	2.食と栄養に関する基礎知識	中項目:	2-3.根拠に基づいた栄養管理
	科目:	摂食・嚥下機能	項目番号:	FS23 118

## 【医療事業部】

研修番号	実務研修－6回	講義時間：90分	取得単位：講義 1単位	
開催期間	2022年11月17日(木)～11月30日(水)			
演題	データを効率よく見える化するスキル～エクセルを用いた資料作成から集計・グラフ化～			
講師	新潟医療福祉大学 健康科学部 健康栄養学科 助教 渡辺 優奈 氏			
期待できる効果	① アンケート結果の蓄積と集計を効率化する、やってみると意外と使えるエクセルの機能や関数を習得することができる ② 資料や報告書の作成から学会発表でも使える、人に伝えるためのグラフ選びとエクセルでの作り方を習得することができる			
お勧めポイント! 	パソコンを使った業務が当たり前になった今、嗜好調査や満足度調査など様々なアンケートの結果を効率よくまとめるスキルが管理栄養士にも求められています。また、現場からの実践報告が重視されている中で業務を“見える化”するために必要なスキルや、自己研鑽の学習能力も習得することができます。是非、この機会に受講し、日々の業務に活用していきましょう。			
研修項目	大項目:	調査	中項目:	研究方法・研究発表
	科目:	調査研究	項目番号:	71-101

たくさんのお申込み、お待ちしております

